

さくらじょうあと 佐倉城跡



佐倉城跡は、元和^{げんな}2年(1616)土井利勝によって築かれた平山城^{ひらやましる}です。北に印旛沼、西と南に鹿島川・高崎川が流れる低地に西向きに突き出した、標高30m前後の台地先端に位置します。

佐倉城跡はこうした地勢を巧^{とくい}みに利用しており、更に水堀、空堀、土塁を築いて守りを固め、東につながる台地上に武家屋敷と、町家を配し、城下町としました。

この地は、中世に千葉氏が築城に着手

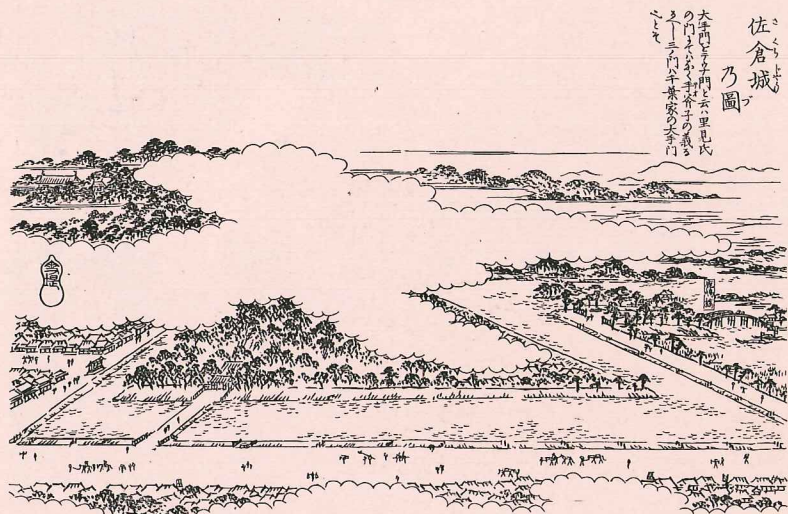
した鹿島城の跡であり、本丸の部分的な発掘調査では、鹿島城当時の空堀を埋めた跡が発見されました。これらのことから、中世城郭を原形としつつ、これに拡大整備を加えて城の中核とした近世佐倉城の様子が明らかになりました。

明治時代になり、ここに連隊が設置される際に解体されたため城の建造物は一切残っていませんが、公有地である大手門跡から西の台地は、史跡として良好に保存されています。

ルート

佐倉城跡は、国立歴史民俗博物館の敷地を含め整備されているので、安心して見学できます。地図や表示に従い、歩道を登り降りすると、堀や土塁をめぐらせた城の遺構に当時が偲べれます。

また、梅、桜、姥が池の睡蓮、花菖蒲、アジサイなどの花やイチョウ、モミジなど四季を通じて豊かな自然を楽しめます。



佐倉城跡
乃圖
大手門を子門と云見氏
の門より西へ土塁を築き
三ノ門を武家の本門
とす

- 土塁
- 空堀
- 歩道



うすいじょうあと

白井城跡



京成白井駅から北に約1kmの所に、白井城跡が静かに眠っています。

城跡のある白井台の台地は東と北は印旛沼、西は手繰川に囲まれた自然の要害となっています。城域は主郭を取り囲む稲荷台砦、宿内砦など数か所の砦を含めると、南北1,700m、東西は950mにおよび県下の中世城跡としては有数の広大な城郭です。

発掘調査の結果、白井氏がこの地に居

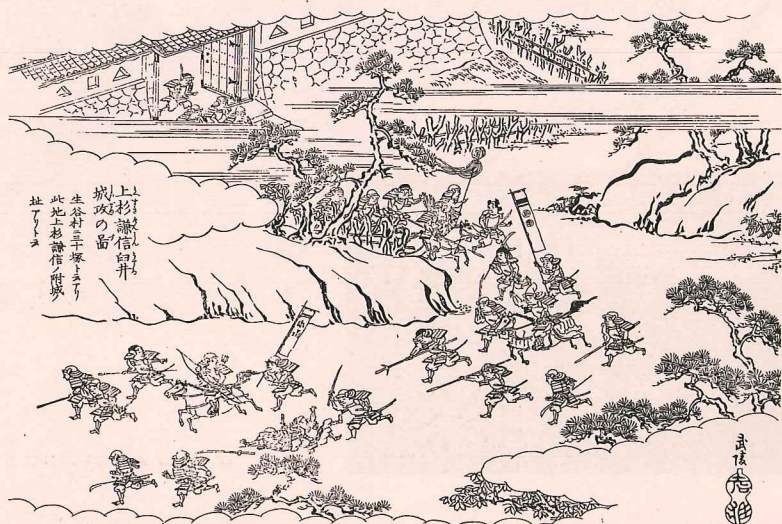
城したとされる14世紀中頃に利用されていた台地先端の曲輪を中心とし、その後原氏の支配となった16世紀後半にはこれに続く曲輪を造成するなど、城の機能をしたいに拡充したことが明らかになりました。ふたつの曲輪は土橋で結ばれ、更に大きな空堀をへだてた西側には、南北に長い3番目の曲輪が広がります。

その空堀で守られた曲輪の周囲には土塁の痕跡も残り、幾度も攻防戦に見舞われた城郭の様子を今に伝える貴重な遺構です。

ルート

城跡南東から台地上に登るルートが一般的です。この坂の中ほどから北に小道を入ると、曲輪の間の土橋に出ます。

車道に戻り、空堀を右手に見て進むと、そこは広大な曲輪の跡です。白井城の戦いで戦死した太田図書すけのふの墓や千葉氏が崇敬した星神社ほしのかみ（妙見）などを巡ることができます。



上杉謙信の白井城攻めの畷
生谷村平塚より
此地土橋作付畷
社あり



- 土塁
- 空堀
- 腰曲輪



約100m

もと さくらじょうあと

本佐倉城跡



に含まれますが、北西側の一部は佐倉市域にあたります。地形的には全体に標高30m前後の小高い山上に位置しており、東・北・南の3方を低地に囲まれています。西は台地に接続しているため、空掘と土塁により区切って曲輪を配し、要害としています。

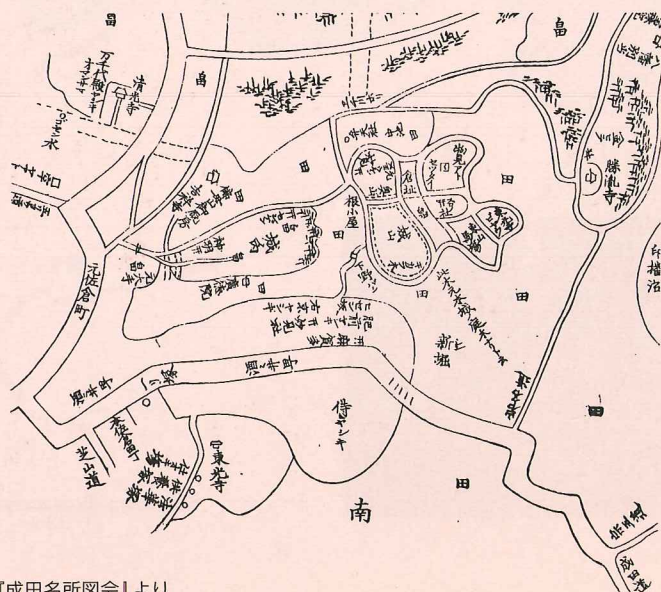
現在はほとんどが畑・山林となっていますが、保存の状態は良好で、千葉氏宗家の本城としてその壮大な威容を今に伝えています。

ルート

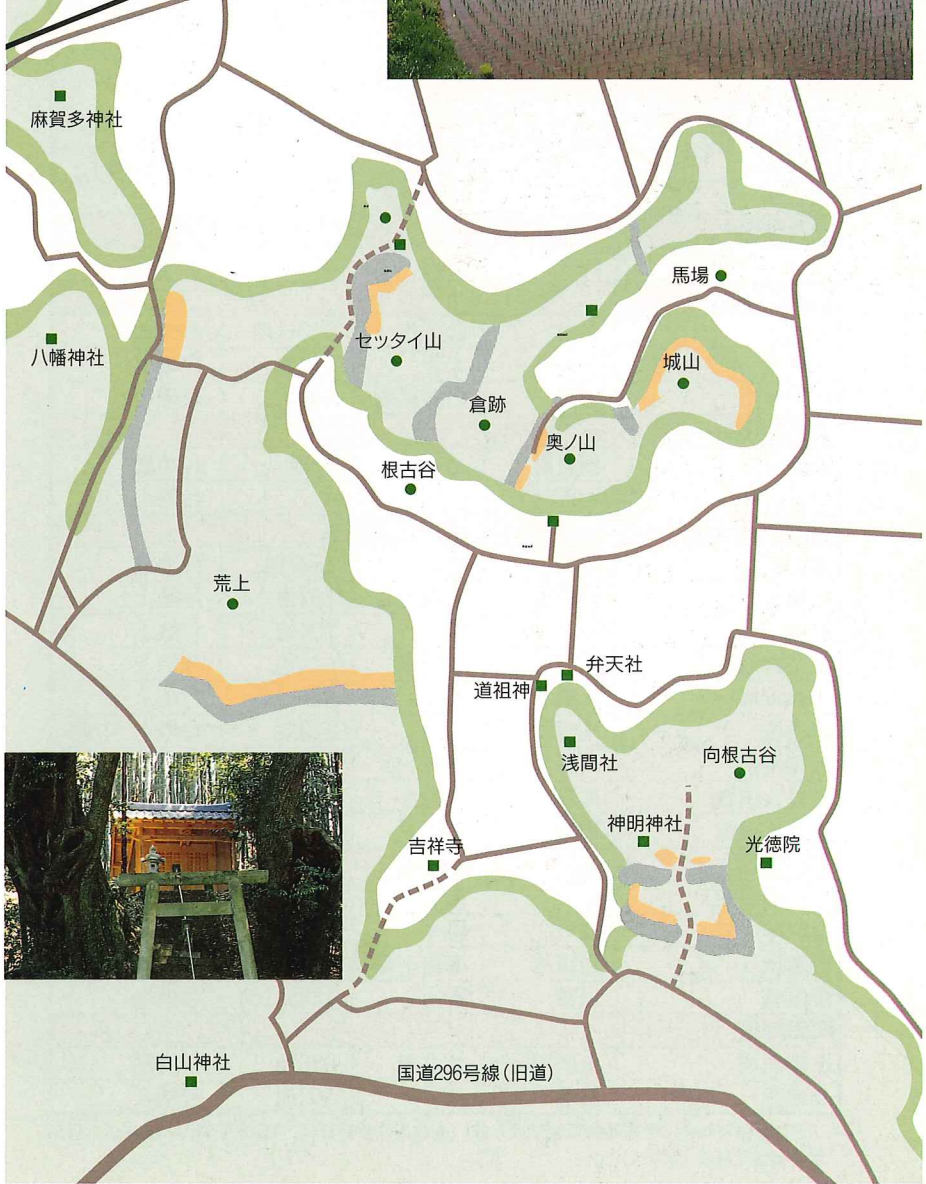
半島状台地東側の谷から「城山」「奥ノ山」より主郭部に入るルートは、進入路の整備も進み、歩きやすい道です。この他に西側から「セツテイ山」に入るルートもありますが、民有地であり未整備のため十分な注意が必要です。いずれも地元の本佐倉城跡保存会が設置した案内板に従い、見学してください。

本佐倉城跡は文明年間末頃(1484年頃)
ちばのすけのりたま
千葉介孝胤が築いたもので、以来、天正18年(1590)千葉氏の滅亡までの約100年間、千葉氏宗家の居城でした。築城当初は、北側の半島状台地上の「城山」「奥ノ山」「セツテイ山」「倉跡」を城域としましたが、のちに外郭郡の整備などの改良が加えられました。

この城跡の大部分は、現在の酒々井町



『成田名所図会』より



その他の市内城跡一覽

名 称	所 在 地			立 地
	大字	小字	地番	
志津地区				
先崎城	先崎	領替	1567他	台地端
井野城	井野	宮ノ台		台地端
志津城	上志津	干場	962他	台地端
志津大口館	下志津	大口	834-2他	台地上
上峠城	下志津	上峠	386他	舌状台地上
小竹城	小竹	中内	901-2他	台地端
臼井地区				
臼井田宿内砦	臼井田	宿内	800他	台地端
千代田地区				
生谷砦	生谷	北ノ作	610-1他	台地端
吉見城	吉見	大作	138他	台地端
臼井屋敷	吉見	臼井屋敷	244他	台地端
佐倉地区				
飯野城	飯野町	乙	35他	台地端
浪人屋敷	大佐倉	浜宿		台地上
根郷地区				
太田砦	太田	用替	1547他	台地端
時崎城	六崎他	時崎他	862他	台地上
城城	城	城	704他	台地上
金部田城	城	金部田	614他	台地上
小篠塚城	小篠塚	城	599-1他	台地上
田端城	小篠塚	田端	526他	台地上・中腹
大篠塚砦	大篠塚	竜替	1070他	台地上
馬渡大内城	馬渡	大内	651-1他	台地端
馬渡馬場館	馬渡	馬場	1442他	台地上
弥富地区				
坂戸馬場館	坂戸	馬場	1240他	段丘上
坂戸尾牛城	坂戸	尾牛	874他	台地端
岩富城	岩富他	城出下他	881他	台地端
殿山城	岩富	殿山	1855-1他	台地端
和田地区				
上勝田城	上勝田	城ノ内	986他	台地端
長熊砦	長熊	西	402他	台地上

*「千葉県佐倉市中近世城跡測量調査報告書」(佐倉市教育委員会、1988年発行)を基に、現存する城跡を取り上げました。